

選者紹介



伊藤 一彦（いとう かずひこ）「心の花」所属
昭和十八年宮崎生

若山牧水記念文学館館長 「毎日歌壇」選者

歌集『光の庭』『言霊の風』など

歌書『若山牧水―その親和力を読む』『歌が照らす』など

人類にオウンゴールありくれなるの千入の空に今日がつつまる



高野 公彦（たかの きみひこ）「コスモス」発行人
昭和十六年愛媛生

「朝日歌壇」選者

歌集『汽水の光』『青き湖心』『河骨川』『流木』『無縫の海』『水の自画像』など

歌書『高野公彦インタビュー』ほくの細道うたの道』『北原白秋の百首』

『明月記を読む（上・下）』など

梨の花ましろに咲けり地下の根は大きなチエロを抱きてかあらむ



中川佐和子（なかがわ さわこ）「未来」編集委員・選者
昭和二十九年兵庫生

現代歌人協会理事 NHK学園短歌講座専任講師
歌集『海に向く椅子』『霧笛橋』『花桃の木だから』など
評論集『河野愛子論』

天球儀ながめておれば人間を小さく感ず夏の光に



吉川 宏志（よしかわ ひろし）「塔」主宰
昭和四十四年宮崎生

現代歌人協会理事 京都新聞歌壇選者
歌集『青蟬』『石蓮花』『雪の偶然』など
評論集『読みと他者』など

一生がああ樹なら葉のいちまいの今日が暮れゆくシャツ買いしのみ

全作品の名前を伏せて、全選者にそれぞれ特選・秀作・佳作作品を選んでいただきました。